

可能性を超える 2 学期に

教頭 廣川 豊士

感動たっぷりの東京オリンピックが閉幕しました。これがコロナ禍になればもっと盛り上がったのに・・・と寂しく振り返るところですが、続いてパラリンピックが 24 日に開幕しました。実はまだまだ感動は終わりません。

いきなりですが、オリンピック陸上 100 メートル走の世界記録をご存知ですか？現在の記録保持者は、ご存じジャマイカのウサイン・ボルト選手で、記録は 9 秒 58 です。ではパラリンピック陸上 100 メートル走の世界記録をご存知ですか？記録保持者はブラジルのアラン・オリベイラ選手で、記録は 10 秒 57 です。記録の差はなんと 1 秒を切っています。

また、この 10 秒 57 という記録は、100 年前のオリンピック記録と同じなので、オリンピックアスリートが 100 年かけた 1 秒を、パラアスリートは 1 年で達成したことになります。

なんだかとても「すごい！」と思いませんか？今からどきどきが止まりません。

この現実の背景には「カーボン義足」の開発があります。現代の義足の開発技術には F 1 マシンの技術も注ぎ込まれており、使用するアスリートの身体・運動特性だけでなく、速く走るための戦術がぎゅっと詰め込まれた極めて高度なものになりました。今からオリンピック選手の記録を超えて世界最速となるパラリンピック選手が誕生することが楽しみです。

2 学期が始まり、当校でも「授業」の開発をします。当校が目指す授業も、子供が今ある可能性を超える姿を引き出すことが目的です。きっとこの 2 学期の授業も、間違いなく笑顔や喜びの声、真剣な表情など、可能性を超えていく子供たちの姿があふれるものになるはずです。また、この 2 学期は子供たちの学びに向かう姿を、1 年ぶりに復活する新しい研究会やホームページ、メディアを通してより広く発信していきたいと考えています。きっと当校の子供たちの姿が、パラアスリートやパラリンピックに負けず、未来社会に向けたイノベーションを促すものになるはずです。この 2 学期も引きつぎご理解とご協力くださいますよう、どうぞよろしく願いいたします。



当校の発達障害通級指導教室を紹介します！

当校には通級指導教室があります。新潟市内小・中学校の児童生徒を対象として、2つの教室を編成して指導を行っています。どちらの教室も子供たちが自分を肯定的に捉え、自尊感情を高めて、自ら学習や集団活動などに取り組もうとする意欲や態度が育つよう、在籍校や保護者と連携しながら一人一人に応じた指導・支援を行っています。

なお、当教室は、1月中旬に申し込みを行っています。11月下旬に新潟市内の小・中学校に募集要項を配信する予定です。また、市内小中学校の先生方や保護者からの教育相談を随時、受け付けています。



当校の通級指導教室にある2つの教室を紹介します！

学習面（読み書き計算等）・かかわり面の教室を編成し、教育活動を行っています

Bear Room (ベアールーム)

読み書き計算等に困難のある小学生に指導を行っています。子供と対話を重ね、自分に合った学び方に気付き、在籍校で主体的に学習に取り組めるようにします。



Together Room (トゥギャザールーム)

人とのかかわりに困難のある小・中学生に、グループ指導を行っています。様々な活動を通して、かかわりを体験的に学び、かかわる楽しさを味わえるようにします。



子供の気持ちに寄り添い 子供が中心の指導・支援を進めます

保護者や在籍校担任と行う支援会議で作成した個別の指導計画を基に、通級や在籍校、家庭における子供への支援を考え、実態に合わせた指導を連携しながら行います。

